

対バルバドス事業展開計画

2024年 4月 現在

基本方針 (大目標)	脆弱性の克服
---------------	--------

重点分野 1 (中目標)	強靱な社会・経済基盤の構築
-----------------	---------------

開発課題 1-1 (小目標)	<p><b>【現状と課題】</b> バルバドスは、気候変動により高まる小島嶼国の脆弱性（ハリケーン・海岸侵食など）の克服を喫緊の課題とするが、長年にわたる財政難から、防災を含む関連のハード及びソフトのインフラ劣化・未整備は深刻であり、特に漁港及び沿岸部における質の高いインフラの整備や、持続可能な漁業体制の整備の必要性が浮き彫りとなっている。当国の高コスト構造の一因である輸入化石燃料への依存とその長期的高騰は、燃料代や光熱費を通して国民生活を圧迫し、ビジネス活動を阻害している。</p> <p>政府は、2030年までに100%再生可能エネルギー／ネット・ゼロを掲げているが、各戸の屋根布設の太陽光発電機の普及と余剰分の売電によるミニマム・インカム確保（HOPEプロジェクト）なども、電力網や蓄電設備の整備が課題となっており、資する我が国の技術を特定し、民間企業との連携や当国への導入の可能性を念頭に支援を行い、グリーン・トランスフォーメーション（GX）のさらなる推進が求められている。また、人口の高齢化も進んでおり、保健医療分野では非感染症疾患（NCDs）に起因する死亡率が8割を超えていることから早急な対策が求められている。</p> <p>政府は、当国は財政再建（EFFs）、ブリッジタウン・イニシアティブによる気候ファイナンス確保を着実に進めてきており、今後は、広く諸外国及び民間の知見を得て、自国の開発を主体的に進める自らが責任を持った自立した国を目指すべく、より一層効果的な施策に資金を活用することが課題となる。</p>	<p><b>【開発課題への対応方針】</b> 強靱な社会基盤の整備にむけて、これまでに協力を実施してきた防災分野においては、過去の協力で積み上げてきた成果（ハザードマップの作成、コミュニティ防災、仙台防災枠組み等）の定着を図ると共に、公平かつ実現可能な形での脱炭素化や再生可能エネルギーへの移行に資する我が国の技術を特定し、民間企業との連携や当国への導入の可能性を念頭に支援を行い、グリーン・トランスフォーメーション（GX）に貢献する。自然災害等に対して強靱な社会経済インフラの構築及び能力強化に貢献する。強靱な社会の構築に欠かせない食料・水・エネルギー安全保障に向け、島国である我が国の知見を活用し、カリブ島嶼国が受ける様々な外的ショックの影響を緩和・吸収できるような人材育成や社会サービスを提供するための体制構築支援を行う。</p> <p>保健医療分野においては、域内の共通課題である糖尿病や心血管疾患などの非感染症疾患に加え、薬剤耐性・人獣共通感染症を含めた感染症の課題に向けた保健医療分野の能力強化に貢献する。</p>
-------------------	---	---

協力プログラム名	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考
			2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度			
気候変動 プログラム	カリブ地域統合防災アドバイザー	個別専門家								11,13	広域案件(カリコム14カ国対象)
	統合的沿岸地帯管理、国家沿岸地帯危機情報計画、持続可能な気候変動対応型沿岸インフラのための制度的フレームワークの改善	マルチ							0.5百万USD	9,11,13,14	IDB日本信託基金
	カリブにおけるサルガッサム管理能力強化計画(UNDP連携)	マルチ							14.19	11,12,13,14	広域案件（5カ国）
	防災・気候変動・環境分野の研修	課題別研修他								6,7,11,13,14,15	
保健・衛生改善	非感染性疾患(NCDs)の予防と管理	国別研修								3,6	

重点分野2 (中目標)	産業振興と人材育成																																				
開発課題2-1 (小目標)  産業振興と 人材育成	<p>【現状と課題】</p> <p>バルバドス（一人当たり国民総所得：21,880米ドル（2023年））は、高所得国に分類され、欧米との長期安定的な関係、国内政治の安定、安全な生活環境、高い教育レベルを強みとする反面、主要産業の観光・金融からエネルギー源・食料までを外国に依存し、恒常的な外因性ショックのリスクに晒される。そのため政府は、ブリッジタウン・イニシアティブにより得られる資金へのアクセスをもって、自国の責任で自国民のための経済社会開発を進めており、GXやDX分野などで人材育成やビジネス振興を図りながら、2030年を目標に日本及びシンガポールのような質の高い経済社会を目指している。</p> <p>当国政府の具体的な取組として、GXやDXの人材育成や先端産業の誘致、輸出産業・国際人材の育成、食料安全保障のための自国生産・供給網の確保、海洋分野の資源活用・先端ビジネス育成、地域の運輸ハブ化などが挙げられるが、資金へのアクセスを活かして、諸外国や民間の知見を得ながら、中高所得国の自立型開発モデルの成功例を作れるかが課題となる。また、右に当たって各分野でのデータ収集・分析力を課題としている。</p>					<p>【開発課題への対応方針】</p> <p>我が国の知見及び教訓を活用して、バルバドス政府及び関連機関の科学的及び社会経済的な調査・分析能力を向上させる支援を行うことにより、民間が安心して投資できる環境を創り出すことに貢献する。自国産業の多角化に資する地場産業の振興、スタートアップ企業支援及び競争力の向上に向けた人的資本への投資促進、人的リソース育成メカニズムの構築、中小企業支援等の協力を行う。</p> <p>我が国の農山漁村での第6次産業化や、農業の農協・漁協の経験から、農業関連技術の支援とともに零細農業者・漁業者の組織化支援や、単独では金融機関にアクセスできないこれらの事業者が必要な資金を得るための制度構築支援などを行う。</p>																															
	協カプログラム名	案件名				スキーム	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">実施期間</th> <th rowspan="2">支援額 (億円)</th> <th rowspan="2">SDGs</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>2023 年度 以前</th> <th>2024 年度</th> <th>2025 年度</th> <th>2026 年度</th> <th>2027 年度</th> <th>2028 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考	2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度										
実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考																													
2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度																																
	民間セクター 開発プログラム	ICT分野の課題別研修				課題別研修他	<table border="1"> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>8,12</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>														8,12																
								8,12																													
重点分野3 (中目標)	地域統合と域内協力																																				
開発課題3-1 (小目標) 地域統合・地域 間協力の促進	<p>【現状と課題】</p> <p>バルバドスは規模の制約とともに歴史的背景などからカリブ共同体（カリコム）による域内統合をめざしている。カリコムは地域の連合組織であることに加え、傘下には課題・分野別の専門機関を有していることが特徴である一方、加盟国間の関係性やカリコム傘下機関同士の連携は希薄であることが挙げられる。より協力効果の発現やインパクトの拡大、持続性の観点からは域内での知見の共有や相互協力を促進することが必要であり、今後の協力においてはカリコム加盟国及び傘下機関同士のネットワーキング・連携強化に資する協力が求められる。また、当国は本年5月に、カリブ以外のSIDSとも連携を目指すべく、当地国連工業開発機関事務所と共にSIDSハブを設置し、他のSIDSとの連携・知見共有を目指している。カリコム諸国と同程度の人口や経済規模、課題等を有する大洋州等のSIDSと連携は当国にとっても重要である。</p>					<p>【開発課題への対応方針】</p> <p>カリコム加盟国の連携の活性化や傘下機関同士のパートナーシップの強化を目指すために、カリコム事務局やカリブ災害緊急管理機関（CDEMA）などへの専門家の派遣を実施する。特にCDEMAへの防災専門家の派遣を通して、当国だけでなくカリコム広域において我が国の島嶼国における防災や海洋などの分野での知見共有だけでなく、大洋州を始めとするSIDSとの連携に資する取り組みを実施する。</p>																															
	協カプログラム名	案件名				スキーム	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">実施期間</th> <th rowspan="2">支援額 (億円)</th> <th rowspan="2">SDGs</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>2023 年度 以前</th> <th>2024 年度</th> <th>2025 年度</th> <th>2026 年度</th> <th>2027 年度</th> <th>2028 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考	2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度										
実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考																													
2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度																																
	カリコム開発・連携促進プログラム	カリコム・アドバイザー					<table border="1"> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>																														

【凡例】 「協準」（＝全ての協力準備調査）、「詳細設計」（＝詳細設計）、「基礎情報調査」（＝基礎情報収集・確認調査）、「技プロ」（＝技術協力プロジェクト）、「開発計画」（＝開発計画調査型技術協力）、「個別専門家」、「個別機材」、「国別研修」、「課題別研修他」（＝課題別研修及び青年研修、長期研修）、「JOCV」（＝JICA海外協力隊）、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」（＝科学技術協力（技プロ型及び個別専門家型、SATREPS））、「草の根技協」（＝草の根技術協力）、「〇〇省技協」（＝外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力）、「民間提案型技協」（＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業）、「SDGs調査」（＝途上国の課題解決型ビジネス（SDGsビジネス）調査）、「無償」（＝以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力）「食糧援助」（＝食糧援助）、「一般文化」（＝一般文化無償資金協力）、「草の根文化」（＝草の根文化無償資金協力）、「緊急無償」（＝緊急無償資金協力）、「日本NGO」（＝日本NGO連携無償資金協力）、「草の根無償」（＝草の根・人間の安全保障無償資金協力）、「有償」（＝円借款、海外投融資）、「マルチ」（＝国際機関等を通じた多国間協カスキーム）、「基礎調査」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」）、「案件化調査」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」）、「普及・実証・ビジネス化事業」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」）、「ニーズ確認調査」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「ニーズ確認調査」）、「ビジネス化実証事業」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「ビジネス化実証事業」）、「実線「——」（＝実施期間）、「破線「- - -」（＝実施予定期間） ※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。

【SDGsゴールの説明】 1「貧困」、2「飢餓」、3「保健」、4「教育」、5「ジェンダー」、6「水・衛生」、7「エネルギー」、8「経済成長と雇用」、9「インフラ、産業化、イノベーション」、10「不平等」、11「持続可能な都市」、12「持続可能な消費と生産」、13「気候変動」14「海洋資源」、15「陸上資源」、16「平和」、17「実施手段」

【SDGsの詳細】 [https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs\\_pamphlet.pdf](https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf)